

「フリースクールカシオペア」ご案内



もうひとつの
未来の創り方！

見学&体験は
初回無料（1時間）
まずはお電話か
メールを下さい。

◆趣旨



◇小人数の刺激の少ない環境、落ち着いて自己表出ができると思える環境で、その子の特性、現状に合わせた学習、レクリエーションを行い、「できた」「わかる」「楽しかった」「たくさん話せた」という小さな成功体験を積み重ねて、自己肯定感、自信を育む場所です。ポイントはワーキングメモリの使い方です。学習をシンプルに行います。

◇お子さんの理解、記憶、運動、コミュニケーションなどの脳内ネットワークが少しずつ発達していくよう、支援します。

◇学校、家庭以外の別の居場所をキープすることで、学校生活や、大人への成長に役立ただけなら幸いです。LD、ADHD、ASD（自閉スペクトラム症）などの子にも支援します。



◆対象 小学1年生～高校3年生

◆担当 中久木俊之（略歴後述）

小林桂代子（特別支援教育支援員養成講座修了）

◆利用 1回1時間30分 3,500円。

※1対1の場合 1時間20分と保護者への報告10分

※1対2の場合 1時間30分と保護者への報告10分
登録費1か月500円、報告書1,000円。

月2回8,500円、月3回12,000円、月4回15,500円
欠席のご連絡は3日前までに連絡いただければ振替OK

◆開設日時 月曜日、火曜日、水曜日

9:30～11:00 11:00～12:30

13:00～14:30 14:30～16:00 など

利用者に合わせます。

終了時に保護者への報告（お話）10分

◆担当 火曜日午前 中久木、小林
その他 中久木



◆基本スケジュール

（学習5分、休憩レク5分の例）

10:00 入室 あいさつ

10:05 学習1（5分）

10:10 卓球

10:15 学習2（5分）

10:20 ウノ

10:25 学習3（5分）

10:30 オセロ

10:35 学習4（5分）

10:40 パパ抜き

10:45 学習5（5分）

10:50 卓球

10:55 学習6（5分）

11:00 将棋

11:05 学習7（5分）

11:10 風船バレー

11:15 学習8（5分）

11:20 保護者の方へ本日の報告

11:30 退所

※音読、計算、言葉の意味理解など6回～8回程度、
学習する子は多いです。

◆学習内容 個別対応です。不安、ストレス、学習の負荷、
興味関心で大きく変わります。楽しく終わるようにします。

◇算数の学習（例）

できるところから始めます。余分なことはしないので、
思っているよりどんどん進むことがあります。月3回の学習を1年間で、
中1から中3までの数学を学習する子は何人もいました。指で数えることをしなくなる小学生も多いです。
ポイントは、ワーキングメモリの負荷を小さくして、本人が、できた！と思う学習です。

◇国語の学習（例）

漢字や語彙力を高める学習を、会話をしながら進めます。
書き順や単語、短文を音読して確認していきます。コツコツ行い、
半年ほどで読みが著しく向上する子がいます。

◆報告書

月に1回、作成します。学校に提出すると、校長先生の判断で、
出席日数にカウントされることも増えています。

◆レクリエーション

ウノ、トランプ



などのカードゲーム、ミニ卓球、

キャッチボール、オセロ、将棋、絵を描く

など、本人が興味あることを行います。

気分転換、おしゃべりを通じて本人を

認めることに重点を置いています。



◆支援で重視していること

本人の意識集中、モチベーション、ワーキングメモリを
どう使っているかを重視します。学習に注意を向ける力は
人それぞれです。

◆持ち物 筆記用具、水筒。電子ゲーム機や携帯電話、ス
マートフォンは持参OKですが、学習中は使えません。
学習に使う場合は使用できます。

◆相談および見学・体験

毎週火、水12時～13時、15時～16時など（メール
か電話で要予約。別の日時も調整次第で可能）。お子さんと
ご一緒にお越し下さい。保護者のみの相談もOKです。1
時間、無料。

◆連絡先

〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階
NPO法人子ども支援室カシオペア

電話052-228-0842 FAX052-228-0846

kodomosien@gmail.com 地下鉄神宮西駅①出口徒歩1分

JR熱田駅徒歩5分 名鉄神宮前駅徒歩10分

コインパーキング近隣に多数あり

□課題処理時の「ワキガ」X用使用量概念図（中久木作成）

脳の作業領域（ワキガ X用）の容量を100と仮定

①心理的安全性が確保できている状態

安定した感情 20											疲れやすくなるライン 容量の70%
	適切な分量、難易度の課題 40										

②心理的安全性が確保できていない状態

安定した感情 20	不安・心配な感情20											疲れやすくなるライン 容量の70%
		適切な課題の分量 42										
心理的安全性の確保は最重要課題												
小3以降は、学校・家庭以外での												
居場所を確保し続ける												

□大切なこと

フリーズさせずに、スモールステップで何回も作業する。繰り返すほど、回路は整備される。

身体が大きくなる中学生頃に大きく伸びることが多いので、地道に小学校時代の心理的安全性を確保して成長を待つ。

□利用回数について

月2、3回の利用の子が多い。学習を進めるのであれば月3回以上が望ましい。居場所中心であれば月2回でOK。

□個別対応

個別対応です。お会いして少しずつ対応を変化、修正していきます。

事例1 小学低学年 音読

できる範囲で音読。疲れたらすぐ休憩、カードゲームなどで気分転換。母親同伴もOKです。半年ほどで著しく音読、学習意欲が改善する子がいます。

事例2 小学低学年 漢字を覚える

書き順を唱えることで、書き順を覚え、書くこと、読むことができるようになり、語彙力が向上する子がいます。

事例3 小学中学年～中学生 特定の興味のある話

特定の興味のある話を話し続けることもOK。名鉄、ドラゴンズ、レゴなど。少しずつ話の焦点をずらして対応させていただきます。

事例4 小学高学年～中学生 算数がわからない

小3、小4のあたりで算数がつまづいている子は多いです。マンツーマンの指導だと、理解していく子がいます。地道にわかるところから行きます。

事例5 小学高学年～中学生 言葉の概念を整理

言葉、熟語の意味の理解が不十分な子は、言葉を少しずつ、読み、書き、意味の確認をしていきます。文章題を解くための前提条件のひとつです。

事例6 小学高学年～中学生 切り替えの難しい子

切り替えの難しい子は、まずは興味をもってできることから始めます。本人の様子を見て、切り替えのタイミング、別の作業の提案を行います。

事例7 小学高学年～中学生 会話して学習が進む子

会話をしていると、不安感や気になることが減少し、学習が進む子がいます。遠慮なくおしゃべりしながら学習します。

事例8 小学高学年～中学生 お腹が痛くなりやすい子

朝は苦手な場合が多いので、午後の時間帯を提案。本人の調子のよい状態に合わせた対応をします。

事例9 計算の苦手な小中学生 負荷を下げて計算

筆算の計算の手順が、負荷がかかりすぎる子は、負荷を下げて計算する方法を試します。実際に足し算、筆算ができるようになった子がいます。

事例10 高校生の不登校

高校で不登校になり、来た子もいます。本人の気持ちや休み、落ち着き、タイミングを見て、一緒に今後について考え、大学に進学した子がいます。

中久木俊之 略歴

1988年～2006年、朝日新聞厚生文化事業団にて、発達障害や不登校の小中学生が自己肯定感を育てる「アサヒキャンプ」を担当。2007年NPO法人アサヒキャンプ名古屋を立ち上げ、事務局長。小5での学校宿泊学習に向けて、大学生多数がサポートして親元を離れる練習になる1泊キャンプなどを行っている。

2010年から春と秋に子ども支援室カシオペア「特別支援教育支援員養成講座」を開催。

フリースクールは2015年4月開始。細かく観察、フリーズしないよう、その子に合わせたスモールステップを行い、本人の承認欲求を満たしていくと自己肯定感、意欲を高め、大きく成長していくと確信している。

◆問い合わせ

まずは電話かFAXかメールをいただくと幸いです。教えていただくとありがたい項目です。

◆お名前（ふりがな）

◆学校名 立 小学校・中学校

◆学年 年 組（通常学級・特別支援学級）

◆保護者氏名 ◆保護者携帯番号

◆住所 〒 - -

◆自宅TEL - -

◆メールアドレス

◆問い合わせ内容

相談 見学 体験 その他

◆相談内容 お子さんの現状と保護者の思い
ご自由にお書きください

◆希望日時 第1希望 月 日（ ） 時